

「西知多医療厚生組合地球温暖化対策実行計画」に基づく令和2年度
 における取組の実施状況について

西知多医療厚生組合では、令和2年度に「第3次西知多医療厚生組合地球温暖化対策実行計画」を策定して温室効果ガスの排出抑制等を数値目標として示し、環境負荷の低減に向けた取組を推進しております。

なお、本計画における基準年度は平成30年度です。

1 実施状況

令和2年度の各施設における温室効果ガスの総排出量及びエネルギー等の使用量については、次のとおりです。

(1) 衛生センター

項目	令和2年度 排出(使用)量	基準年度 排出(使用)量	比較	実施状況	令和6年度 までの目標値
温室効果ガス	751 t	844 t	△ 93 t	11.0%減	4%削減
上水道	12,230 m ³	11,963 m ³	267 m ³	2.2%増	4%削減
電気	919,491 kWh	928,472 kWh	△ 8,981 kWh	1.0%減	現状を維持
重油	118,695 ℓ	131,480 ℓ	△ 12,785 ℓ	9.7%減	4%削減
ガソリン	1,267 ℓ	1,121 ℓ	146 ℓ	13.0%増	現状を維持

(2) 公立西知多総合病院

項目	令和2年度 排出(使用)量	基準年度 排出(使用)量	比較	実施状況	令和6年度 までの目標値
温室効果ガス	4,556 t	5,008 t	△ 452 t	9.0%減	5%削減
上水道	38,732 m ³	41,952 m ³	△ 3,220 m ³	7.7%減	5%削減
電気	8,852,444 kWh	8,470,677 kWh	381,767 kWh	4.5%増	5%削減
都市ガス	307,968 m ³	414,142 m ³	△106,174 m ³	25.6%減	5%削減
重油	11,700 m ³	10,000 m ³	1,700 m ³	17.0%増	現状を維持
ガソリン	1,884 ℓ	2,928 ℓ	△ 1,044 ℓ	35.7%減	5%削減

(3) 公立看護専門学校

項目	令和2年度 排出(使用)量	基準年度 排出(使用)量	比較	実施状況	令和6年度 までの目標値
温室効果ガス	63 t	66 t	△ 3 t	4.5%減	現状を維持
上水道	1,235 m ³	1,268 m ³	△ 33 m ³	2.6%減	現状を維持
電気	73,887 kWh	68,828 kWh	5,059 kWh	7.4%増	現状を維持
都市ガス	13,343 m ³	12,876 m ³	467 m ³	3.6%増	現状を維持
ガソリン	984 ℓ	1,527 ℓ	△ 543 ℓ	35.6%減	現状を維持

2 総括

西知多医療厚生組合では、従来の衛生センターに加え平成27年5月に開院した公立西知多総合病院（以下「病院」という。）と、公立西知多看護専門学校（以下「看護専門学校」という。）の3施設における環境負荷の低減に向けた取組を推進するため、「第3次西知多医療厚生組合地球温暖化対策実行計画」を策定しました。

令和2年度の温室効果ガス総排出量について、エネルギー使用量の減少により、3施設で目標を達成しました。

各施設のエネルギー等の使用量については、衛生センターでは、処理量の減少及び効率的な運転に努めたことにより、重油の使用量を目標値以下に抑えられました。しかし、車両台数が1台増となったため、ガソリン使用量は増加しました。

病院は、重油の使用方法の変更に伴い、大幅に使用量が増加したものの、都市ガスについては、機械を夜間の低負荷時間帯の間、効率的な運転方法に変更したため、使用量が減少しました。また、ガソリンについても、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外部への移動が減ったことから、使用量が減少しました。

看護専門学校は、新型コロナウイルス対策として、学生の登校人数を減らしたため、ガスを使用する全館空調ではなく、電気を使用する教室ごとの個別空調の使用頻度が高まり、電気使用量が増加しました。また、ガソリンについては、新型コロナウイルスの影響により実習が中止になり、教員が実習先に出向くための移動が少なかったことから、使用量が減少しました。

今後も、設備の適切な維持管理、設備更新の際の省エネルギー製品の選定等を通じて、省エネルギーの推進を図り、温室効果ガスの削減に努めます。